

記入年月日:令和 2 年 2 月 24 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		とても開放的で広いです。
	2	職員の配置数は適切であるか	8		必要な基準に満たしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8		フロア内は、おもちゃスペース等をウレタンマットを使用して区画しています。段差はありませんがトイレのバリアフリー化が今後の課題です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8		掃除や定期的な消毒をし、清潔を保持しています。レクを始める際にはそのレクに合わせた環境作りを行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8		PDCAサイクルに基づき、全職員業務の改善を常に心がけています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		もっと保護者様からの具体的な意見を出してもらえるような取り組みをしていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8		HPIにて結果、改善点、今後の課題等を公表しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		8	現状、第三者評価は行っていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		毎月かくれんぼグループ全体の研修があり参加しています。外部研修は不定期なので今後も参加していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		定期的に面談を行い、最新のニーズを把握し目標設定が出来る様心がけています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		アセスメントシートを作成し、聞き取り、記入を行っています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		面談時に保護者と話し、取り入れています。不十分と考えられたときには、再度振り返り改善していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		児童一人ひとりの目標が達成出来るよう行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		職員で話し合いながら作成しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		1か月単位で製作、おやつ作り等レクリエーションを変えています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8		個別活動、集団活動どちらも行えるように計画しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		毎日朝礼で確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		毎日夕礼で振り返りをしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		記録は毎日残し、更なる支援内容の改善に繋げていきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		モニタリングを定期的に行い、計画の見直しをしています。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	責任者と児童の状態を把握している職員が参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	保護者との面談の際に聞き取り等を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	現状、医療的ケアを必要とする児童の受け入れは行っていません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8	現状、医療的ケアを必要とする児童の受け入れは行っていません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	5	現状相談支援専門員開催のものでしか共有できていないので、今後は積極的に図れるようにしていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	4	現状相談支援専門員開催のものでしか共有できていないので、今後は積極的に図れるようにしていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	8	現状連携はあまり図れていないので、研修等は積極的に参加していき、助言、御指導を受けていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	7	保育所等の交流は現状ありません。かくれんぼグループのハローステーションの企画で障がいのない子どもと一緒に活動する事は年に数回あります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	8	現状参加できていないので、今後積極的に参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	8	送迎時や連絡帳にて随時行っています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	8	家庭や保育園、療育センター等で支援の仕方を統一出来る様に共有して行く事を大事にしています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	8	契約時はもちろん、質問があった時にも行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	8	面談の際に計画の見直しを保護者と行っています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	8	相談があった際には一緒に考え助言等を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	8	年に1~2回程度行っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	8	迅速に対応出来るよう心掛けています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	8	HPではブログ、紙媒体では「わんぱく通信」を発行し、定期的に発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	8	細心の注意を払って管理しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	8	送迎時や面談等にて意思の疎通が出来る様心がけています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	8	かくれんぼ全体の行事として、毎月第4土曜日にかくれんぼマルシェ、12月には餅つき大会を開催しております。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	マニュアルは策定してあります。今後更なる周知の為、HPに公開する予定です。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	毎月のレクの中に取り入れて行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	アセスメントの際に確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	現状、医師ではなく保護者様からの聞き取りにて行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	事例が起こった際には報告書を作成し、職員間で共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	かくれんぼグループとして、研修機会があり参加しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	組織的には決まっていますが、支援計画に記載をしていないので今後記載をしていきます。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。